

IV がんの受療状況

1. 受診動機

(1) 受診の動機分布、特定部位別

受診の動機について、判明者の分布を特定部位別に表 8 に示した。「集団検診（集検）」及び「人間ドック」は自発的検診としてまとめて表示した。

判明者中の内訳は、全部位の場合、「自覚症状」が 33.7%、「他病治療中」が 18.2%、「集検又は人間ドック」が 13.7%となった。

部位別の場合「集検又は人間ドック」の割合は、前立腺で最も多く（27.3%）、ついで、結腸、子宮、直腸、胃、肺の順になった。「自覚症状」は、乳房で最も多く（53.4%）、「他病治療中」は肝臓（36.3%）で最も多かった。

表8 受診の動機の分布：特定部位別、男女計

	届出患者数	受診の動機		判明者中の分布(%)			
		不明(%)	判明(%)	集団検診又は 人間ドック(自発 的検診)	自覚症状 (医療機関受 診)	他病治療中	その他
全部位	8,985	4.2	95.8	13.7	33.7	18.2	34.4
胃	1,438	4.2	95.8	17.6	30.2	15.9	36.4
結腸	962	3.4	96.6	20.2	31.3	15.9	32.5
直腸	569	4.2	95.8	19.1	35.0	12.8	33.0
肝臓	591	4.9	95.1	1.4	15.1	36.3	47.2
肺	1,187	6.4	93.6	17.2	27.1	25.0	30.7
乳房	780	2.1	97.9	16.8	53.4	5.6	24.2
子宮	307	3.6	96.4	19.9	47.3	9.1	23.6
前立腺	573	4.9	95.1	27.3	17.8	25.3	29.5

(2) 受診の動機別、根治的治療実施割合

検診群（集検又は人間ドック）、非検診群について、根治的治療の受療の割合を図15, 16に示した。根治的治療の受療割合は全部位で検診群が77.6%と、非検診群の50.5%を大きく上回った。各部位でも検診群の方が非検診群に比べ高かった。

図15 根治的治療別割合<検診群>

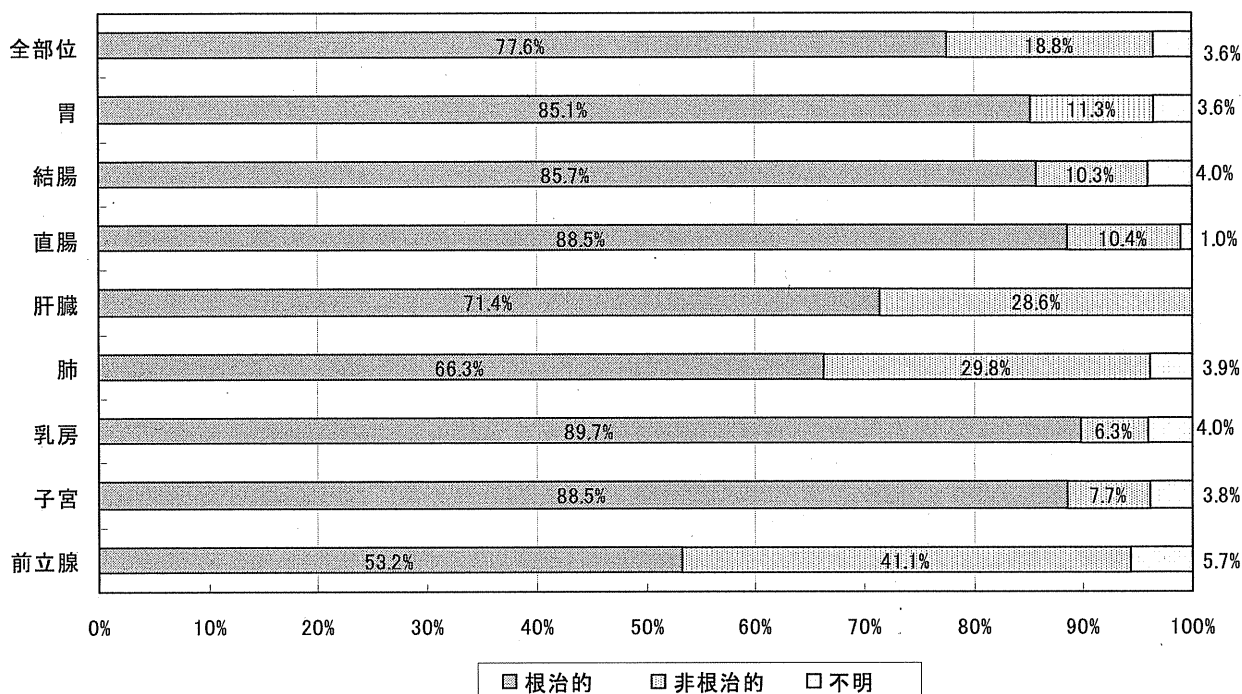
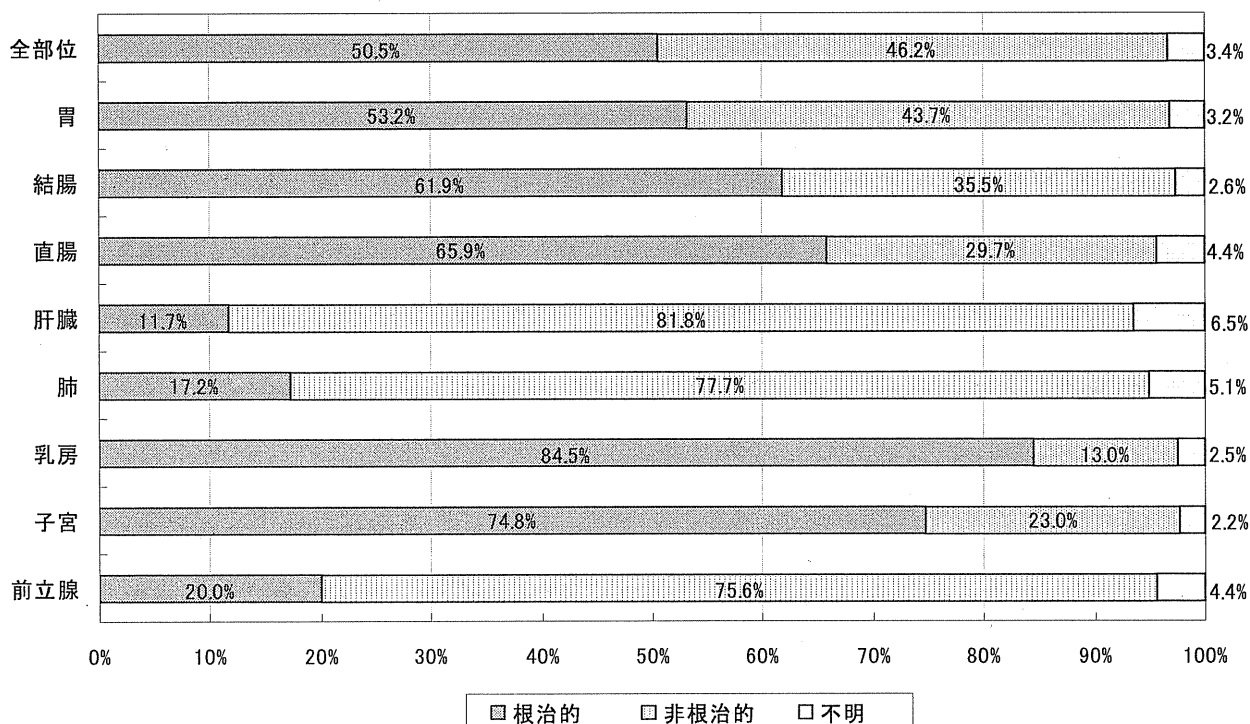


図16 根治的治療別割合<非検診群>



(3) 部位別、進行度割合

検診群、非検診群について進行度別割合を、図17, 18に示した。上皮内がんの占める割合は検診群では子宮48.1%、非検診群では結腸10.7%と高く、上皮内がん、原発臓器に限局の占める割合は子宮を除いて検診群の方が高かった。

図17 進行度割合<検診群>

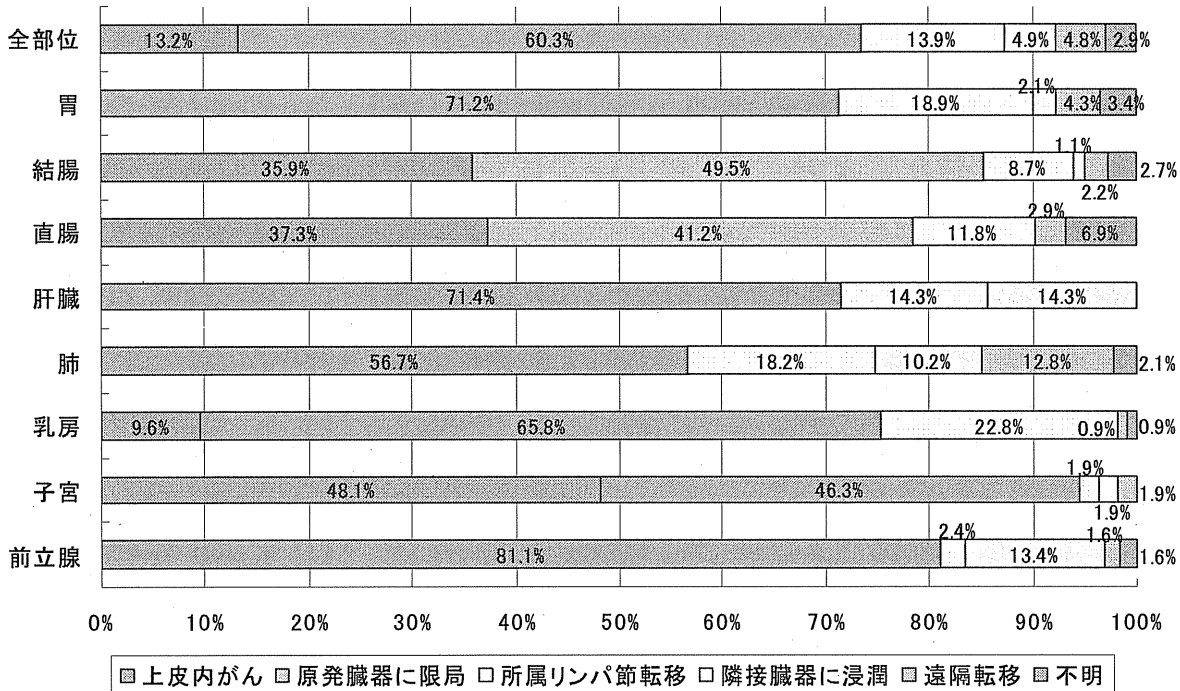
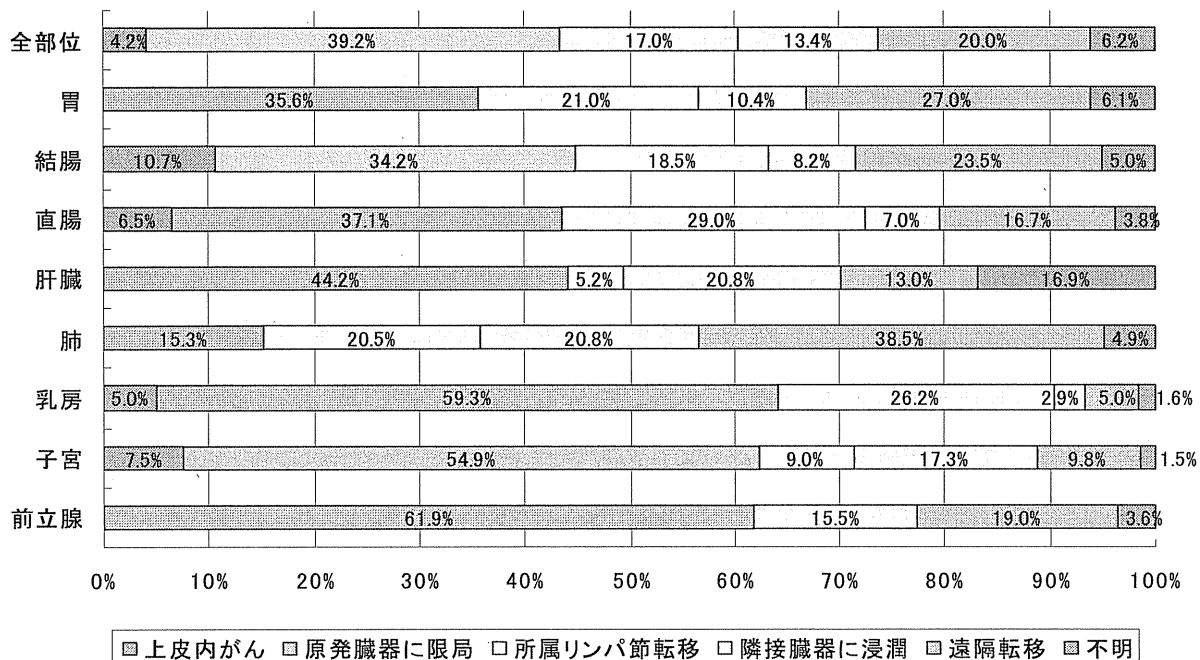


図18 進行度割合<非検診群>



2. 受検割合（診断方法の分布）

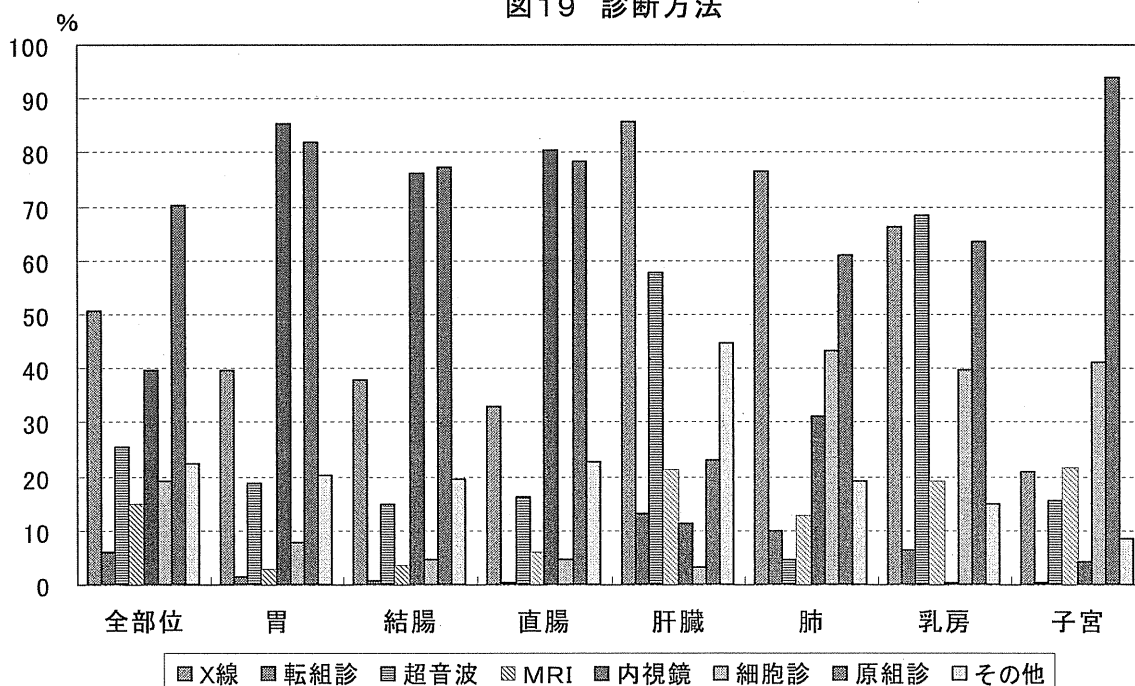
受検の割合（診断方法の分布）を表9に示した。複数の診断方法を受けた場合には、それぞれの診断方法ごとに重複して計上した。

受検の割合は、全部位では原組診が70.3%と高く、ついでX線、内視鏡、転移巣の組診、細胞診、MRIの順であった。部位別で組織診断が実施された割合が高いものは、子宮、前立腺、胃で、細胞診が高いものは、肺、子宮、乳房であった。

表9 診断方法実施率の分布:特定部位別

	届出患者数	受診の動機		診断方法実施率の分布(%)							
				X線	超音波	転組診	MRI	内視鏡	細胞診	原組診	その他
		不明(%)	判明(%)								
全部位	8,624	4.0	96.0	50.9	6.1	25.5	15.0	39.8	19.1	70.3	22.3
胃	1,384	3.8	96.2	39.7	1.4	18.9	3.0	85.5	7.9	81.9	20.4
結腸	941	2.2	97.8	37.8	0.7	14.9	3.6	76.2	4.6	77.4	19.6
直腸	548	3.7	96.3	32.8	0.4	16.2	6.2	80.5	4.6	78.3	22.6
肝臓	558	5.6	94.4	85.8	13.3	57.7	21.1	11.3	3.2	22.9	44.6
肺	1,129	4.9	95.1	76.5	9.8	4.5	12.8	31.4	43.3	60.9	19.3
乳房	768	1.5	98.5	66.4	6.5	68.4	19.0	0.5	39.6	63.5	14.8
子宮	294	4.2	95.8	20.7	0.3	15.6	21.8	4.4	41.2	93.9	8.5
前立腺	555	3.1	96.9	32.6	21.1	38.7	34.2	7.7	2.7	91.9	42.3

図19 診断方法



3. 受療割合（治療方法の分布）

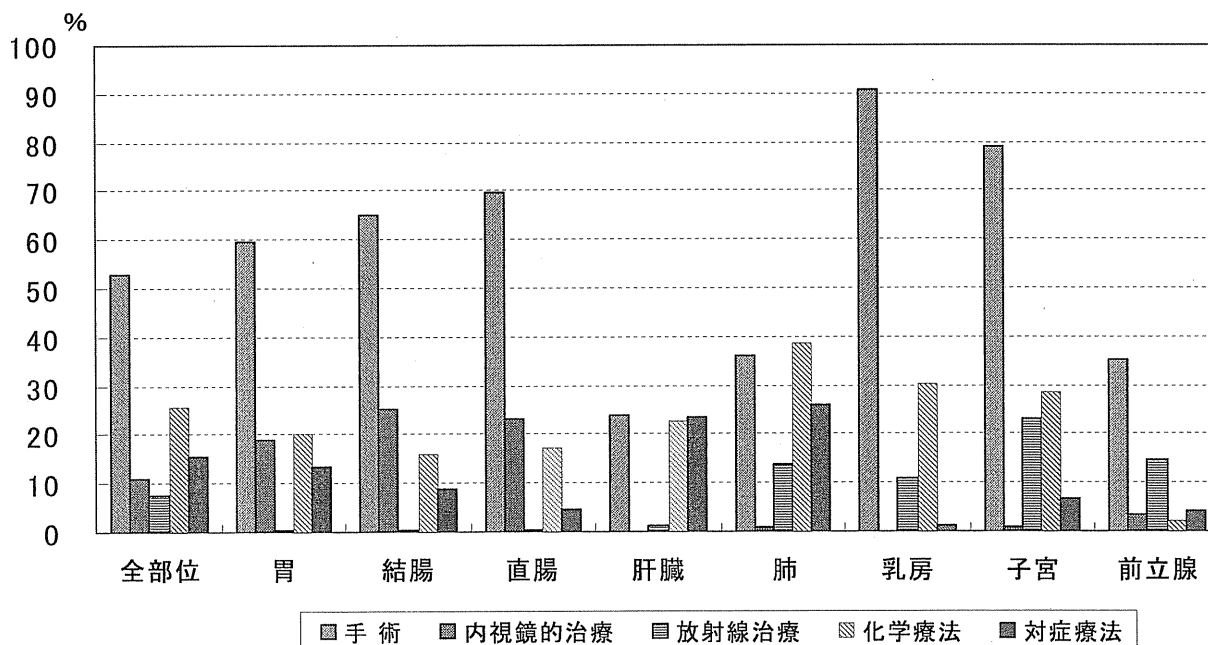
表 10 に治療方法の実施率の分布を示した。治療について、併用療法を受けた場合には、それぞれの治療方法ごとに重複して計上した。

全部位では「手術」の割合が最も高く 52.9%であった。部位別で見ると、「手術」の割合が高いのは、乳房(90.9%)、子宮(78.9%)、直腸(69.7%)、結腸(65.3%)で、低いのは、肝臓(24.1%)であった。「放射線治療」は、子宮(23.2%)、前立腺(14.9%)で高く、「化学療法」は、肺(38.7%)、乳房(30.2%)で高かった。

表10 治療方法実施率の分布:特定部位別

届出患者数	受診の動機		治療方法実施率の分布(%)									
	不明(%)	判明(%)	手術	内視鏡的治療	放射線治療	化学療法	ホルモン療法	免疫療法	対症療法	その他		
全部位	8,374	6.8	93.2	52.9	10.8	7.4	25.6	6.2	0.6	15.6	8.7	
胃	1,338	7.0	93.0	59.6	18.9	0.3	20.1	0.1	0.1	13.5	4.6	
結腸	924	4.0	96.0	65.3	25.3	0.3	16.1	0.0	0.0	8.8	3.8	
直腸	541	4.9	95.1	69.7	22.9	0.6	17.2	0.0	0.2	4.6	5.0	
肝臓	535	9.5	90.5	24.1	0.0	1.1	22.6	0.0	0.2	23.7	54.2	
肺	1,079	9.1	90.9	36.0	0.8	13.9	38.7	0.2	0.2	25.9	7.4	
乳房	761	2.4	97.6	90.9	0.0	10.8	30.2	33.8	0.3	1.4	1.6	
子宮	285	7.2	92.8	78.9	0.7	23.2	28.8	1.1	0.4	6.7	1.8	
前立腺	524	8.6	91.4	35.5	3.4	14.9	1.9	47.1	0.2	4.4	5.3	

図20 治療方法



4. 診断時の病巣の広がり

診断時の臨床進行度（病巣の広がり）を表 11 に示した。

本登録室では、1 上皮内、2 原発臓器に局限、3 所属リンパ節転移、4 隣接臓器に浸潤、5 遠隔転移の 5 病期分類からなる「臨床進行度分類」を採用した。

がんが原発臓器に局限（上皮内がんを含む）していたのは全部位で 52.7%であった。部位別に、「原発臓器に局限（上皮内を含む）」が高かったのは、皮膚、膀胱、前立腺、肝臓で 70%を超えた。「所属リンパ節転移」については、甲状腺が 30%を超えた。「隣接臓器に浸潤」については、卵巣、胆嚢・胆管、膵臓も 30%を超え、「遠隔転移」については、膵臓が 43.4%と極めて高かった。

表11 臨床進行度分布:主要部位、男女計

届出患者 2006年

部位	臨床進行度 判明(%)	判明者中の分布(%)					
		上皮内 がん(A)	原発臓器 に局限(B)	(A)+(B)	所属リンパ 節転移	隣接臓器 に浸潤	遠隔転移
全部位	89.8	5.7	47.0	52.7	13.3	11.8	16.0
口腔・咽頭	91.9	2.7	38.1	40.7	22.1	19.5	8.8
食道	95.2	5.6	28.5	34.1	22.3	18.4	13.4
胃	94.9	0.0	53.7	53.7	15.7	7.9	17.4
結腸	96.6	17.9	41.2	59.1	14.5	7.5	15.0
直腸	95.4	15.3	40.3	55.6	21.4	5.2	14.2
肝臓	92.7	0.0	73.0	73.0	2.4	10.0	6.9
胆嚢・胆管	89.6	0.4	25.9	26.3	4.5	37.5	23.2
膵臓	91.1	0.0	7.4	7.4	9.8	35.0	43.4
喉頭	91.8	4.4	64.4	68.9	20.0	6.7	0.0
肺	93.3	0.1	32.5	32.6	16.7	16.2	28.2
皮膚(*3)	90.8	18.9	70.9	89.9	1.4	2.0	3.4
乳房	92.3	5.4	60.3	65.7	24.7	2.1	5.0
子宮	88.6	19.9	49.3	69.1	6.3	15.1	8.1
卵巣	89.2	0.0	30.3	30.3	6.1	38.4	19.2
前立腺	86.9	0.0	73.3	73.3	2.2	10.8	9.8
腎など(*4)	89.8	3.1	57.0	60.1	3.1	12.4	18.7
膀胱	90.1	22.3	58.3	80.6	2.8	6.7	3.5
脳など	78.8	0.0	63.4	63.4	0.0	2.4	2.4
甲状腺	98.4	0.0	45.2	45.2	35.5	12.9	5.6
リンパ腫など	42.1	0.0	13.4	13.4	6.3	12.5	31.3
多発性骨髄腫	32.2	5.3	5.3	10.5	5.3	0.0	21.1
白血病など	14.7	0.0	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0

腎など(*4):上皮内がんは「その他の泌尿器(D091)」に属するもので占められる

皮膚(*3):皮膚の黒色腫を含む